

2018年3月号

八戸ブックセンター



PICK UP 14:00 ~ 15:30 / 要予約 / ワンドリンク制

3/11 (日)

『幸福な水夫』を読む

好評開催中のギャラリー展「紙から本ができるまで展」でとりあげている「幸福な水夫」を読みあう読書会を開催します。物語の内容について語りあうほか、ギャラリー展を観覧しながら特殊な造本なども味わい、「幸福な水夫」が持つ紙の本ならではの魅力を楽しみましょう！

「紙から本ができるまで展、いよいよ3月11日までとなりました。どうぞお見逃しなさいよう！」



『幸福な水夫』
木村友祐・著 未来社・刊

ギャラリー展

3/14 (水) から 4/22 (日) まで

祖敷大輔

『星空の谷川俊太郎質問箱』原画展

谷川俊太郎さんが64の質問に答えた本が刊行されました。本の装画・挿絵を担当した、祖敷大輔さんの原画展を、八戸ブックセンターのギャラリーにて開催いたします。



「星空の谷川俊太郎質問箱」
著者：谷川俊太郎
発行：ほぼ日

仕事をしていて悲しくなる／いちばんの美しい思い出は？
／叶わない恋をしてしまった／調子にのった状態を直すには
／寂しいときのおまじない／幸せの見本は？／宿題中に
ゲームのことを考えてしまう／失恋で得たものは？／世界の
人が平等になるには etc……

祖敷 大輔 (そしき・だいすけ)

1979年山口県生まれ、広島県育ち。2002年武蔵野美術
大学視覚伝達デザイン学科卒業後、新聞社にて広告制作
に携わる。バイシクルメッセンジャーを経て、2008年
よりイラストレーターとして活動中。東京都在住。



PICK UP EVENT

14:00 ~ / 要予約

3/17 (土)

管啓次郎×新井高子トークイベント

啄木のうた、賢治の詩

震災をきっかけに、啄木、賢治の新しい姿が、
いま、立ち上がる！

「東北おんば訳 石川啄木のうた」編・著者
である新井高子さんと、詩人・明治大学教
授の管啓次郎さんをお招きし、東北を代表
する詩人の作品を振りかえるトークイベ
ントを開催いたします。



『東北おんば訳
石川啄木のうた』
新井高子・編著 未来社・刊

ほっこり、どっかり、声の力。
三陸海岸大船渡のおんばた
ちの力を借りて、啄木短歌
を土地言葉訳して100首！
俊英の私人によるエッセイ、
解説も必読。おんばの朗読
が聴けるQRコード付き。

新井高子 (あらい・たかこ)

詩人。詩誌「ミテ」編集人。埼玉大学准教授。主な詩集に『タ
マシイ・ダンス』(小熊秀雄賞)、『ベットと織機』(いずれも
未知谷)。震災をきっかけに、大船渡市で啄木短歌を土地言
葉に訳すプロジェクトを企画し、『東北おんば訳 石川啄木の
うた』(編著、未来社)を刊行。同書は、岩手沿岸部ベスト
セラーの一つ。

管啓次郎 (すが・けいじろう)

詩人。比較文学者。明治大学教授。主な著書に『コロン
ブスの犬』『狼が連れだって走る月』(いずれも河出文
庫)、『斜線の旅』(インスクリプト、読売文学賞)。詩集
に「Agend'Ars」4部作、最新詩集は『数と夕方』(い
ずれも左右社)。古川日出男、柴田元幸らと、朗読劇『銀
河鉄道の夜』を制作。訳書も多数。

『シリーズ藩物語 八戸藩』



「シリーズ藩物語 八戸藩」

著者：本田伸（ほんだ・しん）

発行：現代書館

平成 30 年 2 月に現代書館から刊行された「シリーズ藩物語 八戸藩」。現代を生きる八戸の人のルーツともいえる、「八戸藩」の時代がよくわかる一冊です。

八戸ブックセンターでは、この本を八戸市民のみなさんに知っていただき、さらに楽しんでいただくために、関連パネル展や読書会などさまざまな企画を開催いたします。それぞれの企画は随時八戸ブックセンターのウェブサイトなどでご紹介していきます。企画を楽しみながら、ぜひ市内の書店さんや八戸ブックセンターで「シリーズ藩物語 八戸藩」をお手にとってみてください！

■パネル展『地図で見る八戸藩』（仮）

平成 30 年 3 月開催予定。

■読書会『「シリーズ藩物語 八戸藩」を読む』（仮）

平成 30 年 3 月開催予定。

※詳細は決まり次第ウェブサイトなどでお知らせいたします。

「シリーズ藩物語 八戸藩」出版記念イベント

八戸人のルーツをたどって

日時：平成 30 年 3 月 25 日（日）13:30 開演（13:00 開場）

場所：八戸市文化教養センター 南部会館

料金：無料（「シリーズ藩物語 八戸藩」の購入が必須です）

お申し込みは
おはやくに！

プログラム：

本田伸さんによる基調講演（約 45 分）

パネルディスカッション「八戸人のルーツをたどって」（約 60 分）

三浦忠司さん（コーディネーター／八戸歴史研究会 会長）

本田伸さん（「シリーズ藩物語 八戸藩」著者）

藤田俊雄さん（弘前大学國史研究会 会員）

船場昌子さん（八戸市博物館 学芸員）



チケット取扱・問い合わせ店：木村書店（24-3366）、伊吉書院西店（28-8211）、伊吉書院類家店（47-0222）、カネイリ番町店（46-1812）、カネイリ下田店（50-3248）、八戸ブックセンター（20-8368）※市外局番はいずれも「0178」

本のまち読書会

14:00～16:00 / 要予約 / ワンドリンク制

3/24 (土)

知の棚へのチチェローネ

～2巡目の4

絵巻絵本「かわ」をひろげて眺めてみよう～

1962年、加古里子により月刊絵本「こどものとも」7月号として刊行された「かわ」。半世紀以上読み継がれてきた絵本の名作を絵巻として仕立て直した折りたたみ屏風式の絵本です。2ページ分追加した約7メートルにもなるこの絵巻絵本をひろげてみて、源流から海に至るまでの長い川の旅を眺めてみましょう。(実はこの絵巻絵本は裏側にも印刷されているので表面と裏面で異なる川旅を味わえます。)



『絵巻じたてひろがるえほんかわ』
加古里子・さく/え 福音館書店・刊

毎月最終金曜日

18:00～20:00 / 予約不要 / ワンドリンク制

3/30 (金)

ブック・ドリンクス

ドリンクを飲みながら、本について語らう交流会です。
事前申込みいらず、出入り自由なので、
ぜひふらっとお立ち寄りください◎



「スタッフのひとりごと」は
不定期連載です。

スタッフのひとりごと◎紙から本ができるまで展も、残すところあと少しの会期となりました。正直寂しい気持ちです…！企画が立ち上がった当初は、実際に出版される本ができると思っていなかったのですが、今でも夢のようです。あらためて、「本」が書き手、編集者、装丁家が一体となって出来上がっていることに気づかされる企画となりました。そして、三菱製紙八戸工場という、地元で作られる紙の魅力をさらに知ることができました。中には何回も足を運んでくださる方もいらして、とても嬉しく思います。工場からやってきた大きなロール紙や、空を飛ぶ(ー)冊子たちなどもお見逃しなく。展示の楽しみ方などツアールもしていますのでお気軽にお声掛けください◎そして、3月14日からの、祖父大輔さんの原画展もどうぞお楽しみにー！(は)



ハブブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER

〒031-0033

青森県八戸市六日町16番地2 Garden Terrace 1階

TEL 0178-20-8368 FAX 0178-20-8218

開館時間：10:00～20:00

休館日：毎週火曜日(祝日の場合はその翌平日)、1/1、および12/29～12/31

最新情報・イベントのお申し込みは・・・

web <https://8book.jp>

こちらもチェック！

twitter @hachibookcenter

facebook @hachinohebookcenter